ひだまり通信

第71号
令和7年4月

011-676-3131

ひだまりエッセイ

老蘇会がこれからめざすこと

法人としての老蘇会が設立されてから今年で満22年、これまで私たちは何をしてきたのか、そしてこれからなにをめざすのか、改めて考えてみたいと思います。

老蘇会が誕生した時、静明館診療所と居住部門(現在のあいのて)は活動していました。訪問介護、デイサービス、ケアマネ、訪問看護、重度訪問と開設が続いて、平成30年に現在地に移転。縦に長く移動に不便だった建物は一階に地域交流空間を設け居住部門は3、4階というコンパクトな形になりました。法人設立当時20人程度だった職員は4倍以上に膨れ上がりました。

さて、ここから何をめざすのか?更に地域に飛び出していくこと、同時にメンバーのつながりを再構築していくこと・・・移転後の一年は地域交流空間が活躍していました。講演会、コンサート、ビアガーデン、イベント時のパンの販売・・・これらはコロナ禍で一度全てリセットされましたが、また少しずつ芽が出始めているようです。まずは平成30年、31年のレベルまで、更にその先をめざしましょう。それが各事業所の活動にも跳ね返ってくることでしょう。

地域の防災の拠点となる構想もあります。そして、栗山コレクション(1800枚のCD)の貸し出しシステムの確立。これがうまくいけば私のCDコレクションもそこに加えて地域の人に活用してもらいたいと思います。

医療法人財団老蘇会
理事長　矢崎　一雄

ひだまりボランティア会

静明館地域交流空間ひだまりで行われているのが「ひだまりボランティア会」です。主に施設内で利用するウエスや館内に飾る季節の絵を作っています。季節の絵は型取りした画用紙をカットする作業が主で、手を動かしながらいろいろな話で盛り上がっています。

この会は新型コロナウイルス感染症の流行下でも地域の方と交流を続けたいという思いで、介護事業所を利用されている方との接触がない形でのボランティア活動として考えたものです。

開催は月1回月曜日の午後2時から3時までで、皆さんの予定を確認しながら翌月の開催日を決めています。

静明館まで来ていただける方ならどなたでも参加できます。

ご興味のある方はお問い合わせください

地域交流空間ひだまり
中村明子
011-688-6627

発行:医療法人財団
静明館診療所　静明館訪問看護ステーションののはな・そらいろサテライト　サービス付き高齢者向け住宅あいのて
小規模多機能型居宅介護事業所つるかめ　老蘇訪問介護事業所　静明館居宅介護支援事業所はれのひ